

世界のエネルギー消費量

世界ではどのくらいのエネルギーを消費しているのでしょうか。図3-2は2000年と2004年における地域別のエネルギー消費量を表したものです。経済発展が著しいアジア地域では中国を中心にエネルギー消費が大きく増加している様子が見えます。世界のエネルギー消費量は石油換算で2000年が8,499,621,000tでしたが、2004年には9,137,464,000tに増加しました。この増加分の多くはアジア地域の増加によることが図3-2から分かります。世界で最も多くエネルギーを消費するアメリカ合衆国は、2000年には世界で消費されるエネルギーの25.7%を消費していましたが、2004年にはその比率が22.5%に低下し、その分アジアでの消費比率が増大しています。アジア地域での経済発展に伴うエネルギー消費の増大は、北半球の大気環境にも影響を及ぼす可能性があります。

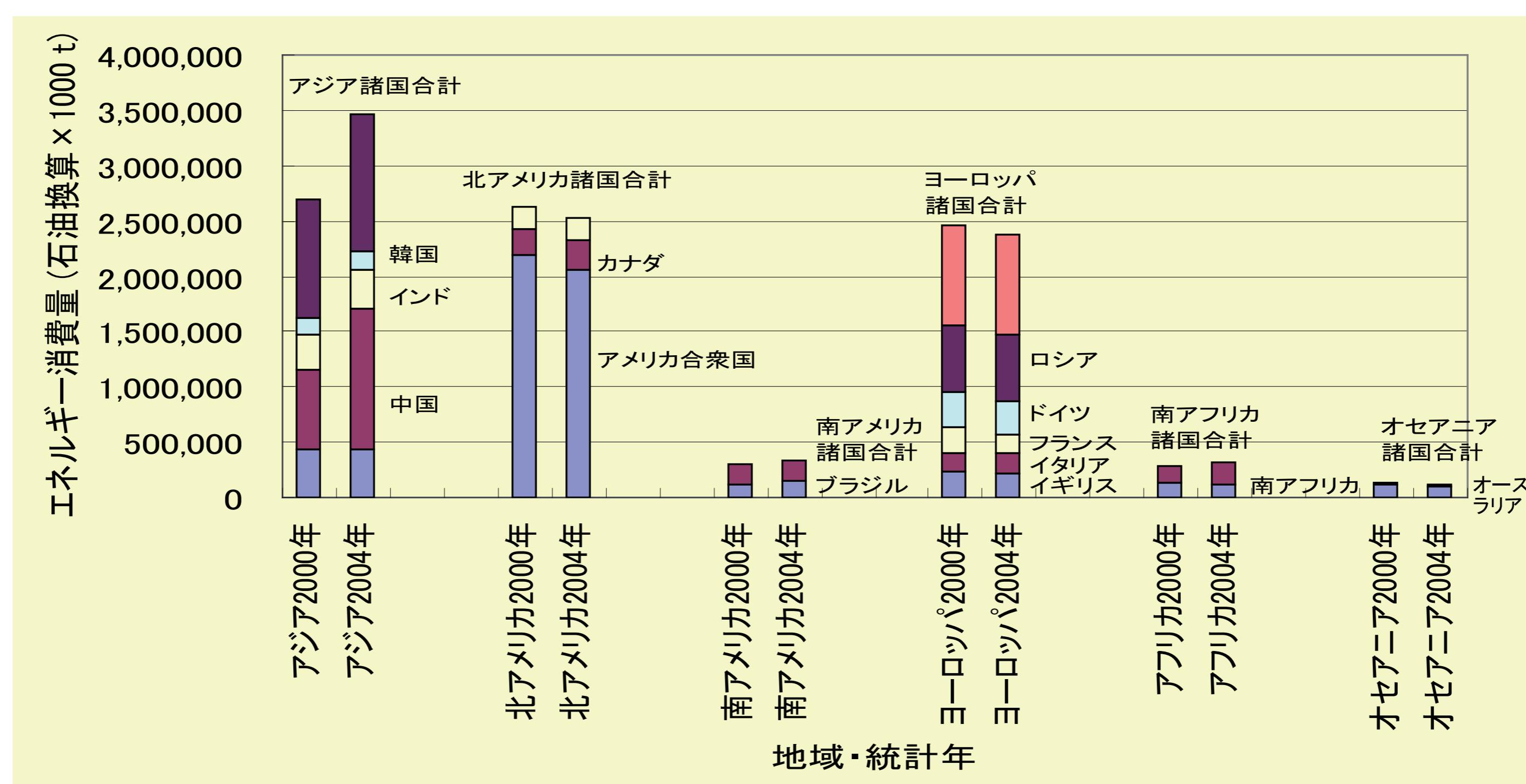


図3-2 2000年と2004年の地域別、国別のエネルギー消費量

国民一人当たりのエネルギー消費量から今後を考えてみよう

図3-3は各国で消費される総エネルギー量をその国の人⼝で割ったものです。消費されるエネルギーの中には産業用のエネルギーも含まれるため、⼯業国ではその値が大きくなります。⼯業化が進みつつある国では、エネルギー総量や一人あたりのエネルギー消費量も増えていくと予想されます。

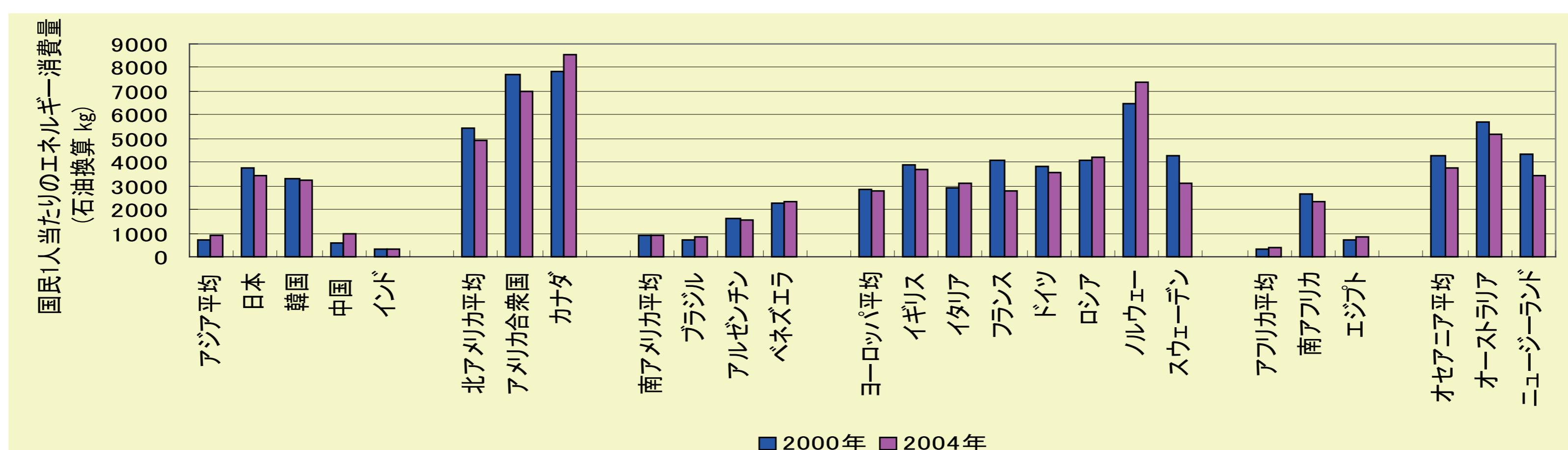


図3-3 各国の国民一人が年間に使用するエネルギー量(石油換算 kg) (2000年および2004年)